

義理苺市

の7日間生活

⑤中

ふたりきり、
5日目、昼。

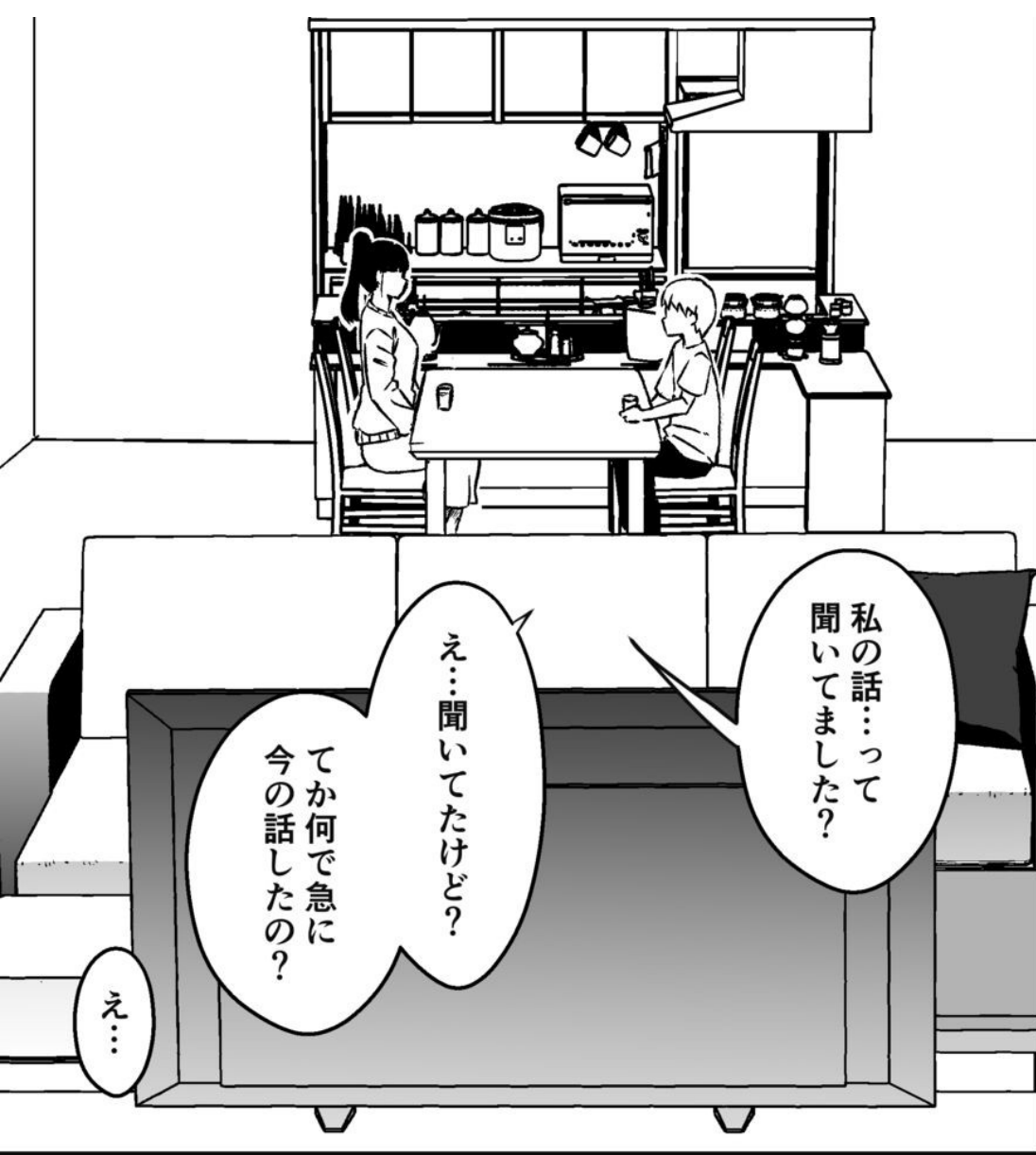
本文70P

私のカラダで
いいなら...

好きにして
下さい...

『決壊』



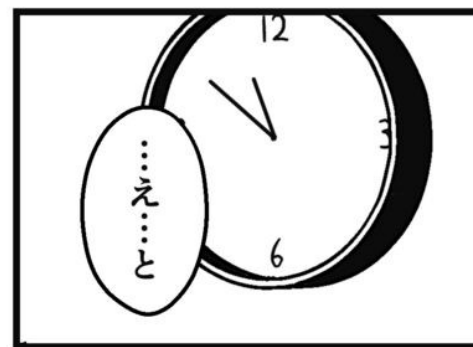
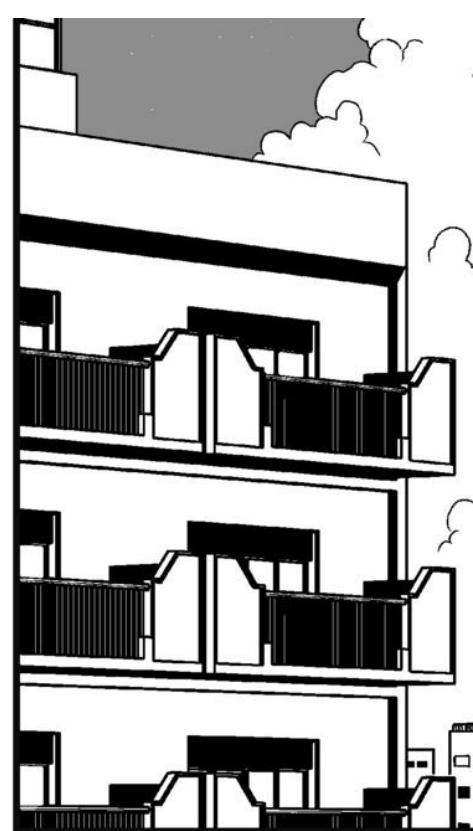


私の話…って
聞いてました？

え…聞いてたけど？

てか何で急に
今の話したの？

え…



…え…と



…もしかして…
忘れてま…す？

いや覚えてるよ

朝起きたら明音さんが
「お話しておきたい事が」
って流れだったよね

い…いえ
そうですけど…

そこじゃなくて…
昨日の…夜の…



俺が明音さんを
好きって言った事？



昨日の…

あー…



…違った？

い…いえ…

それです…けど

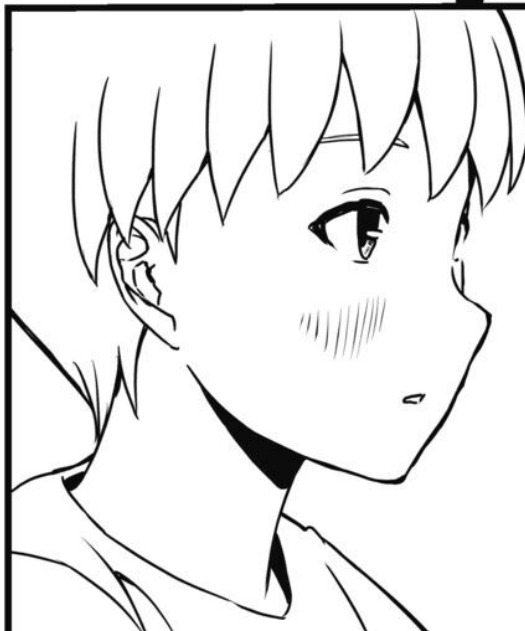
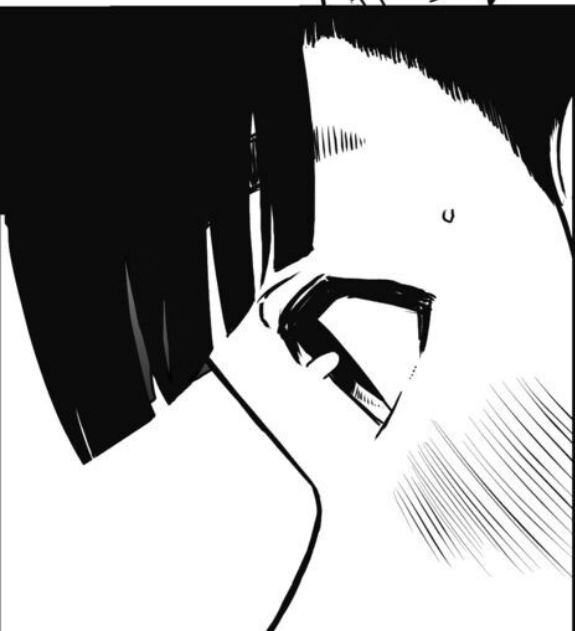
その…ストレート過ぎて…

もう少し言い淀む
ものかと…

いや俺だって
恥ずかしいよ…

明音さんが
訊くからじゃん

…はい…



…でも

それと今の話が
何か関係あるの？



…知って欲しかったんです

私が…どういう
人間なのか…



ハルさんが…
私の事をそんな風に
想ってくれるのは…

きっと…私をよく
知らないからです



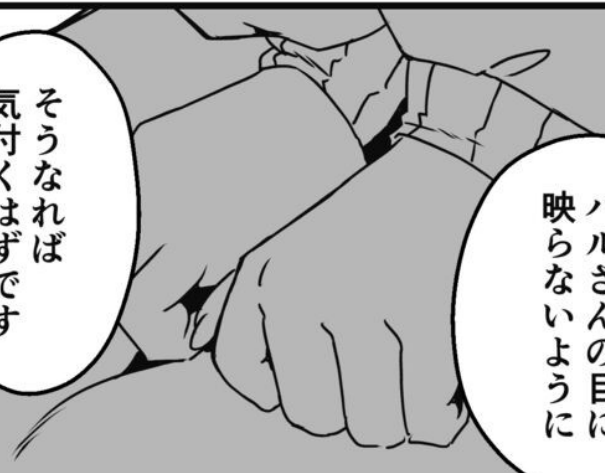
私は過去…快樂に
負けて

お父さんを傷付けて

反省したはずなのに

また家族を傷付け
たんです

それが私の本質
なんだと…この5日間で
ハッキリとわかりました



…私は…近々ここを
出て行くつもりです

ハルさんの目に
映らないように

そうなれば
気付くはずですよ

私への感情が…
一時の気の迷い
だったと…

だから…

だから…

私以外の誰かと…
幸せになって下さい



飲み物持って来る

結構話したね

ガッ…

……





…母さんがさ



コホホホホホ…

……



声をかけても
「大丈夫よ」

「心配いららない」の
一点張りだった



でも…
わかるんだ

無理して
笑ってるって



離婚してすぐの頃

よく落ち込んでた
んだ…当たり前だけど

でも…俺に心配させたく
なかったんだろうね

弱音を言ったり
全然しなかったんだ

カッパ…



…ハッ…ハルさんは
子供だから…

わからないだけです…

私みたいな人間と
一緒にいれば…

必ず不幸に
なります

何でそんなに
自分を悪く…

だっ…だって！
実際もうすでに
そうでしょう!!

忘れたんですか!?

お父さん達が出掛けた
日の夜の事…!

私あなたを…
強姦したんですよ!?

本当だったら…

ハルさんはこれから
たくさんの人に出逢って

私なんかより
ずっとずっと素敵な
女の子と

恋をして…

そのコに捧げるはず
だったものを…

私なんかが…!

…それって明音さんが
家を出て解決する事なの？

っ…だって…!

家族に夜這いする
ような人間と
住めますかこの先!

お義母さんと
どんな顔して暮らせば
いいんですか!?

何て言えば…

お父さんに

距離を置くくらいしか
私は思いつきません!

私と一緒に
居たって…

ハルさんだって
きつといつか後悔します!

今だって本心では
手輕に抱けるから
私を好きだって言ってる
だけで…

っ!!



ごっ…ごめんなさい
私…なんて事を…

…いいよ

実際…最初は
そうだったと思う



「最初に手を出したのは
明音さんだし」

「きつと嫌とは
言われないはずだ」

さっき汗かいたから
…今汚ったないです私!!

明音さんの
罪悪感につけこんで
たんだ…

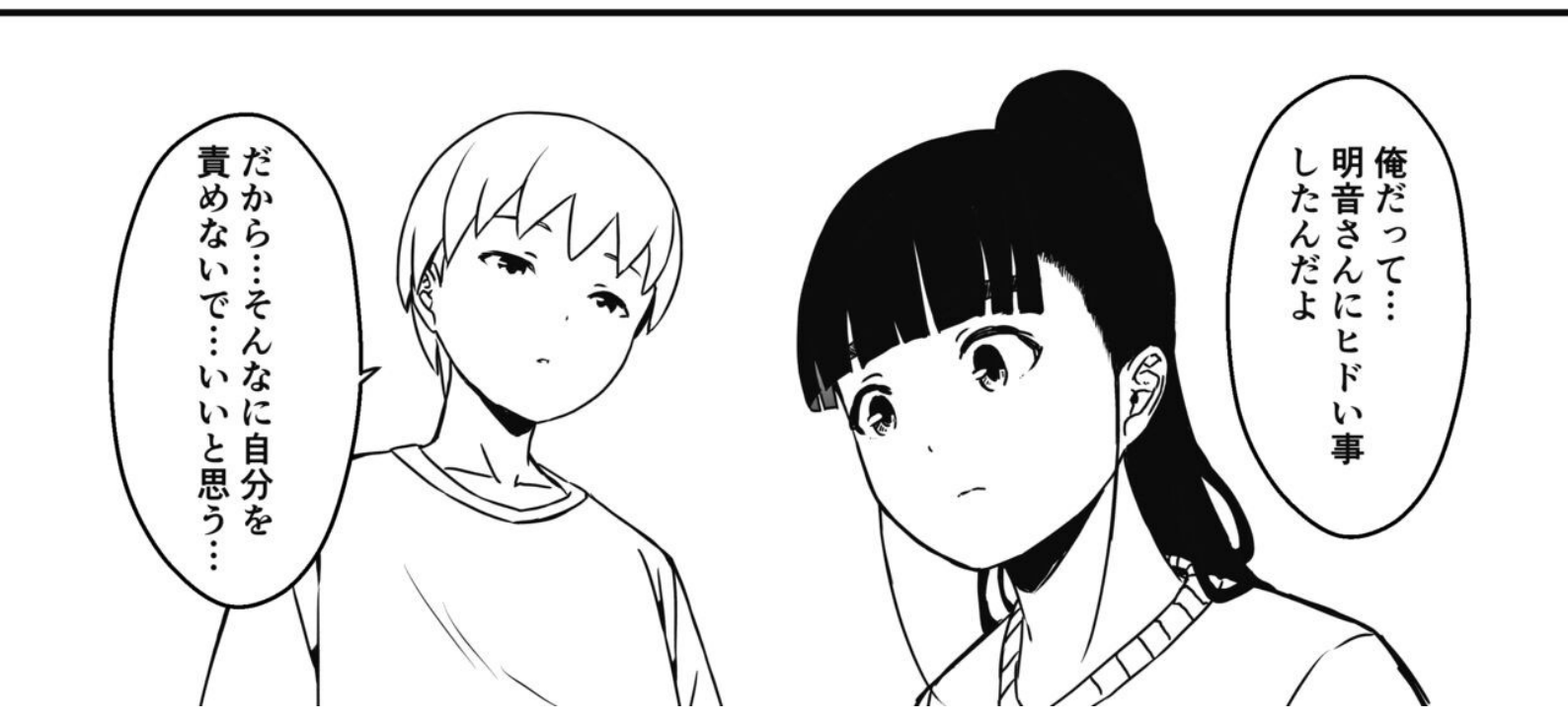
明音さんの気持ち
…考えてなかった

ほら…おなか
空いてません!?

…我慢できない

ム…つ…だつ
だつたらせめ
シャワー浴び
後でも…

汚くない



俺だって…
明音さんにひどい事
したんだよ

だから…そんなに自分を
責めないで…いいと思う…



明音さんの言った通り
俺はまだ子供で…

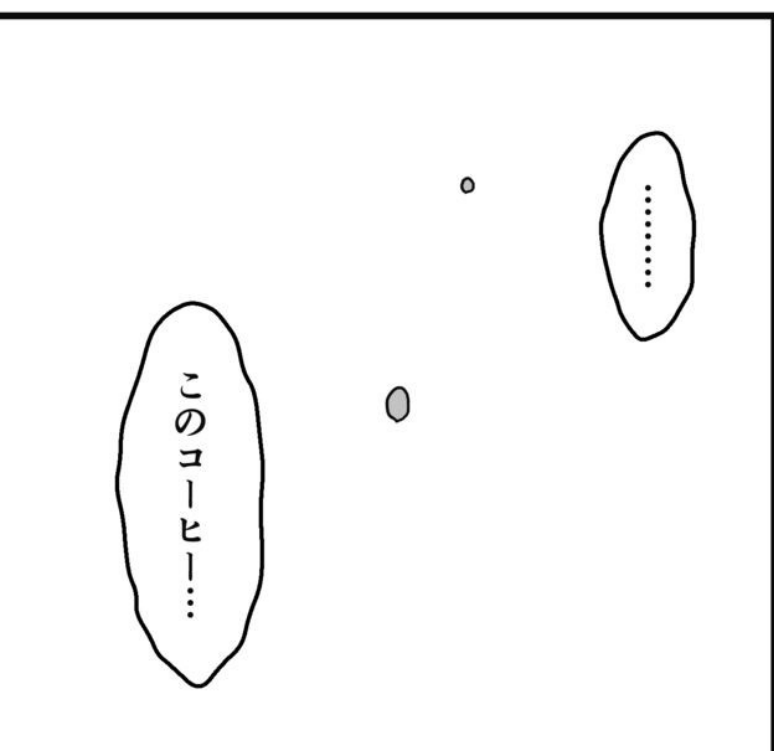
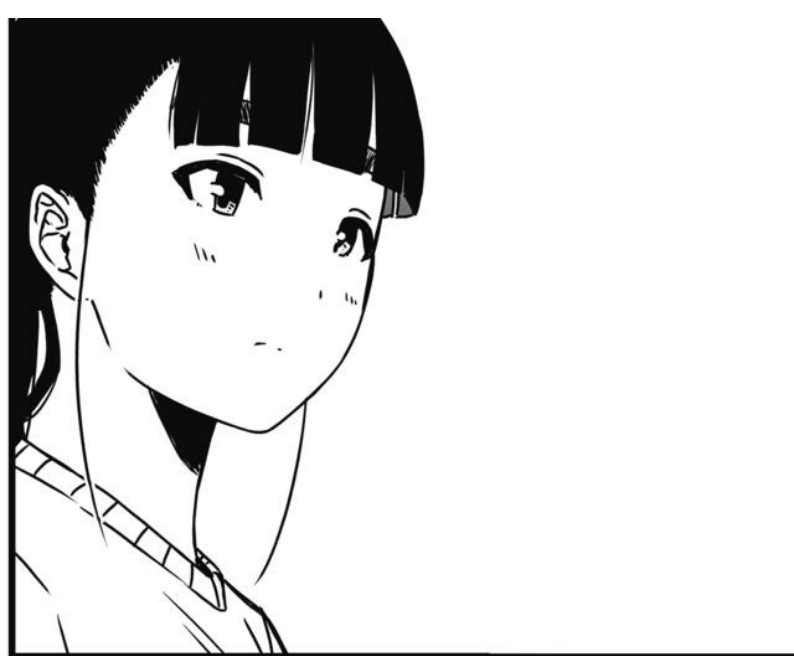
経験とか…お金とか…
色々頼りないと思う…

さっきの話だって…
正直理解できないトコも
あるけどさ…

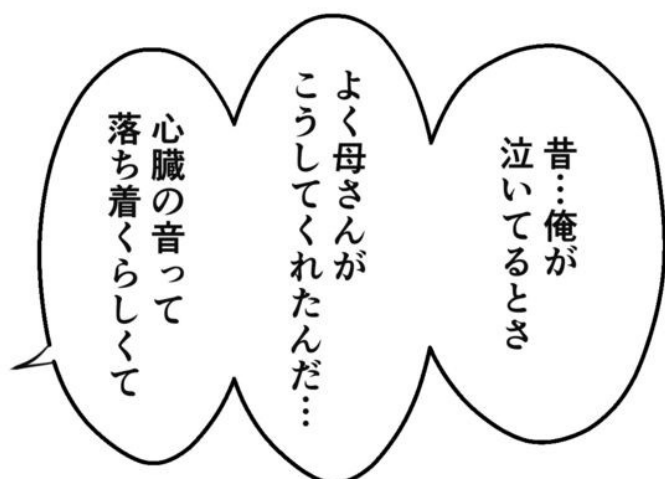
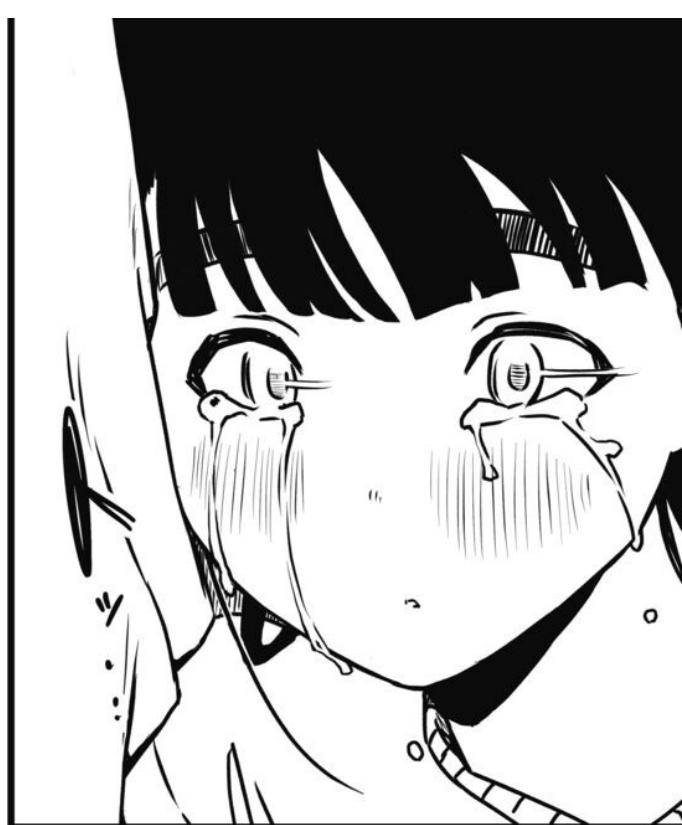
過去じゃない

俺が好きになったのは

現在の明音さんだよ







だから…
ありがとう…

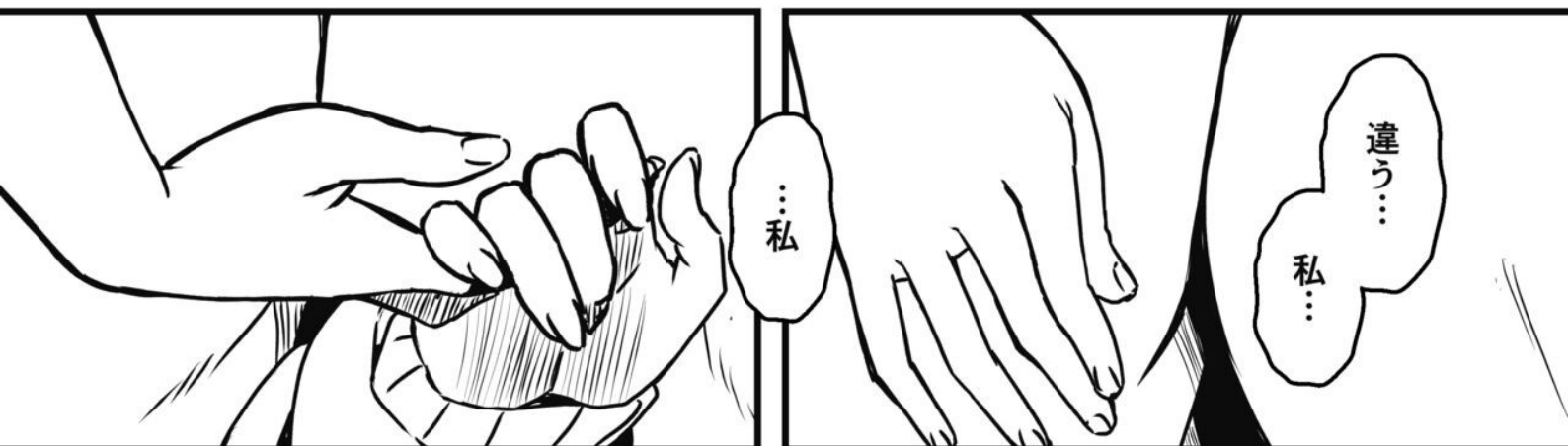
俺に…勇気出して
くれて…



違う…

私…

…私

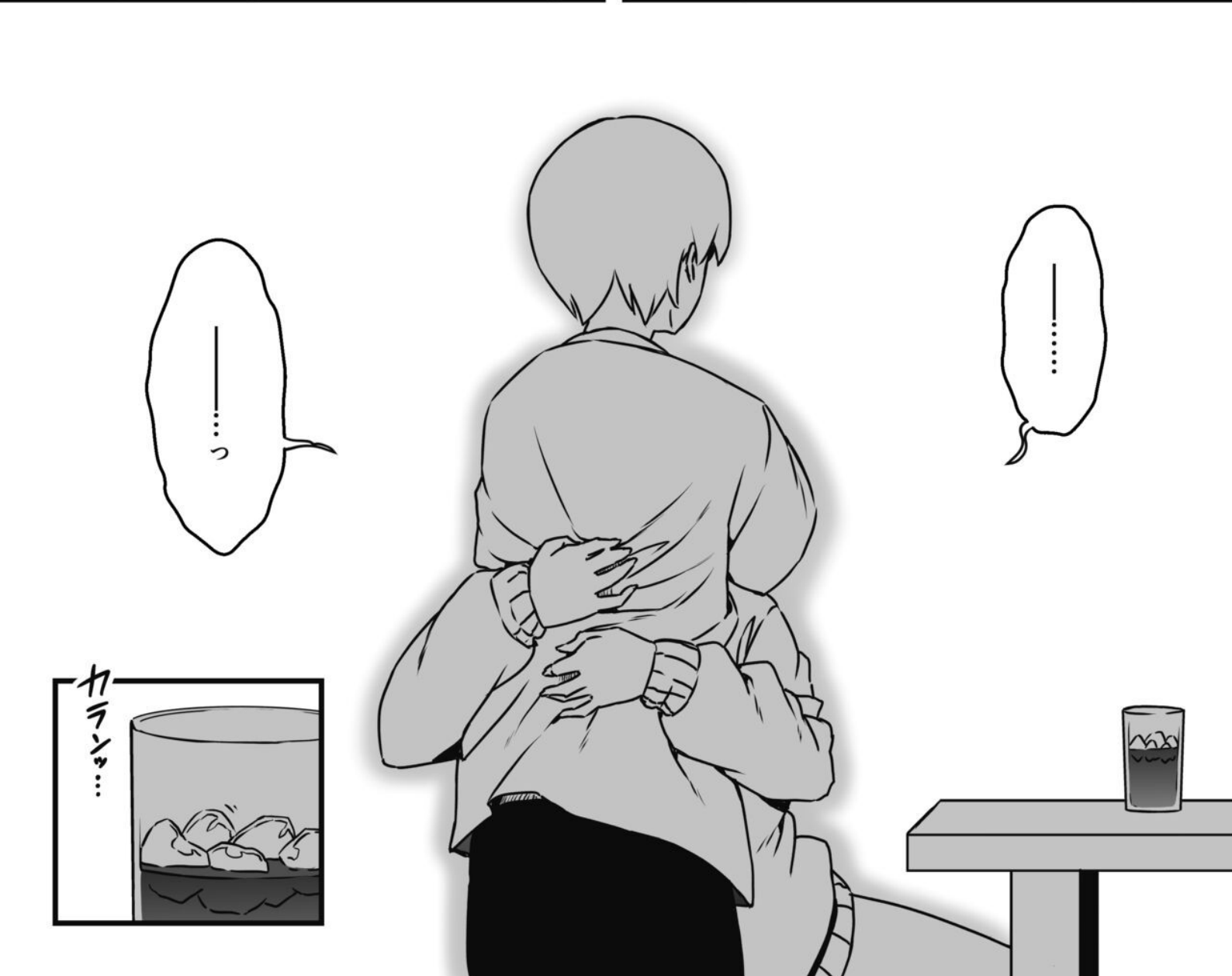
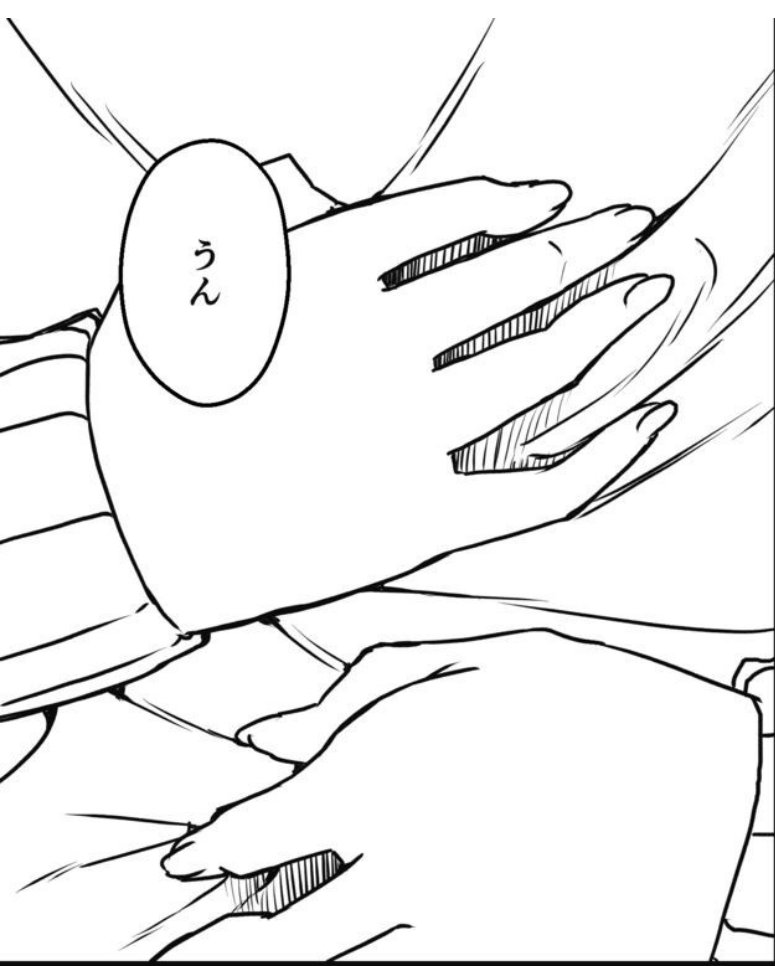


……ごめんなさい…

…姉ちゃんなのに…

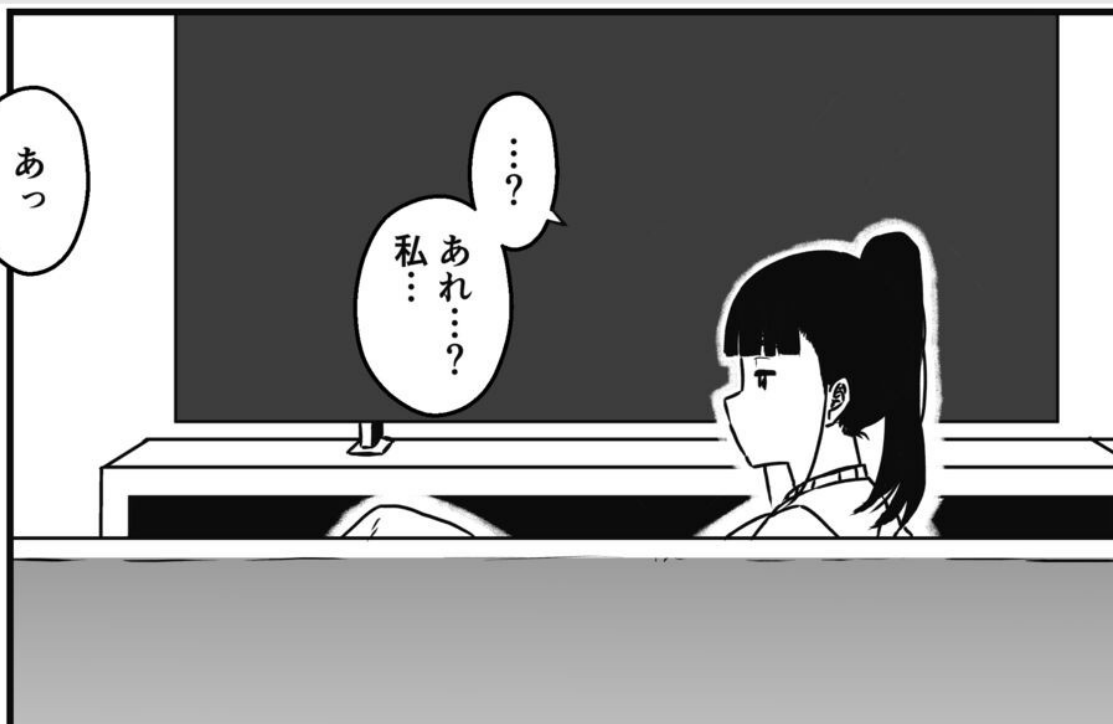
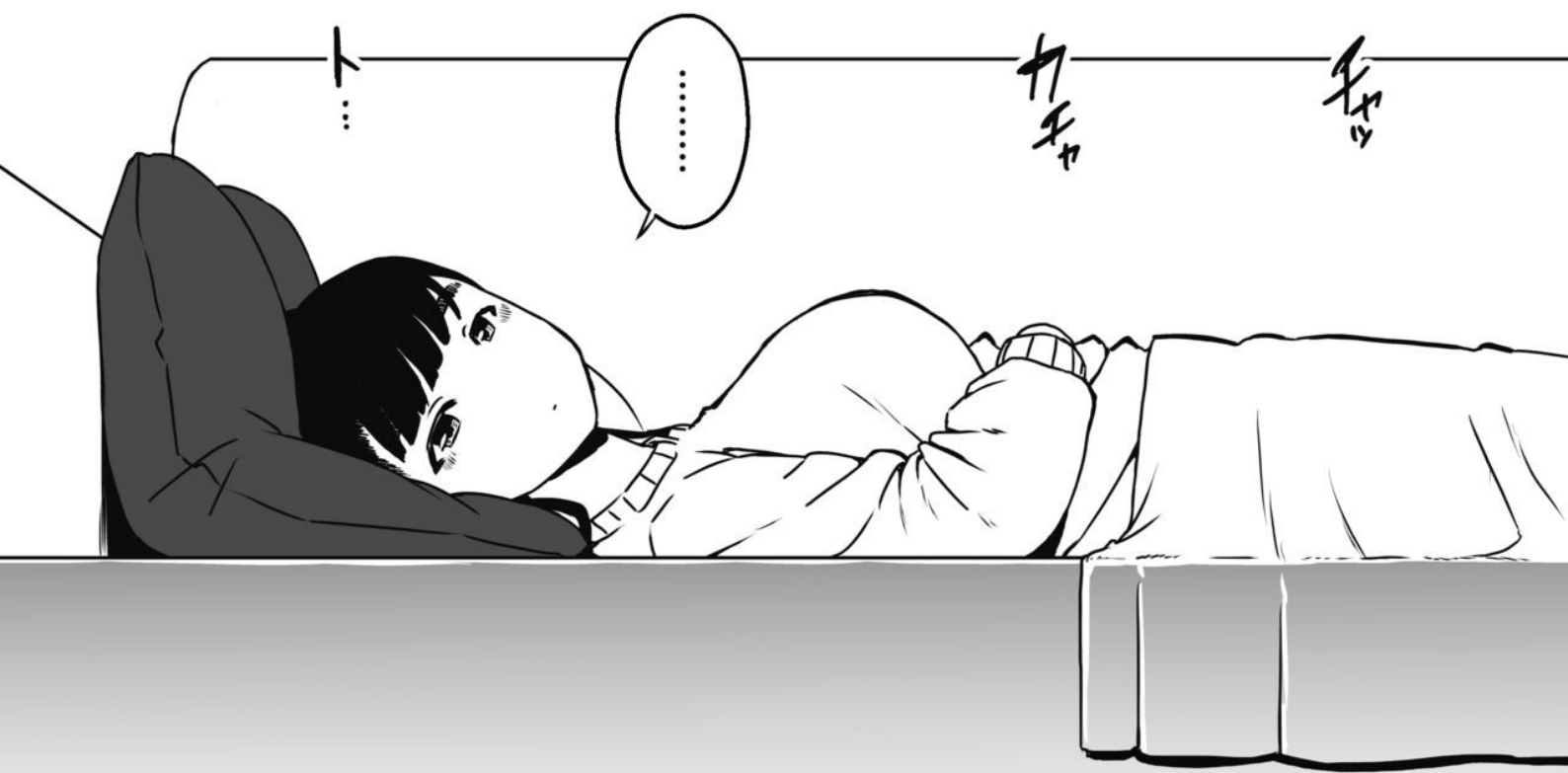
ごめんなさい…



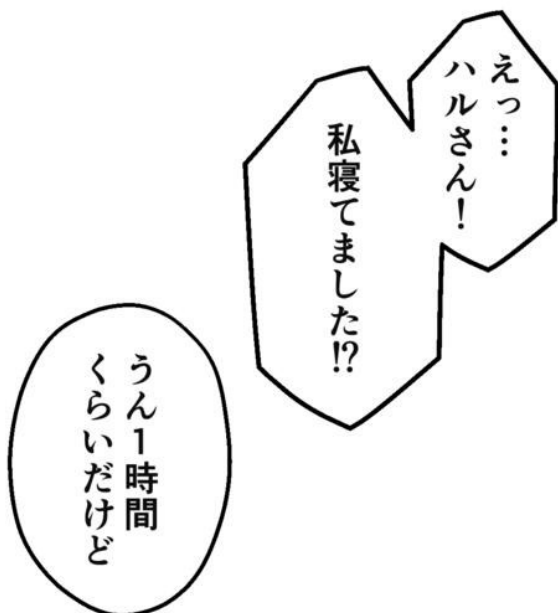


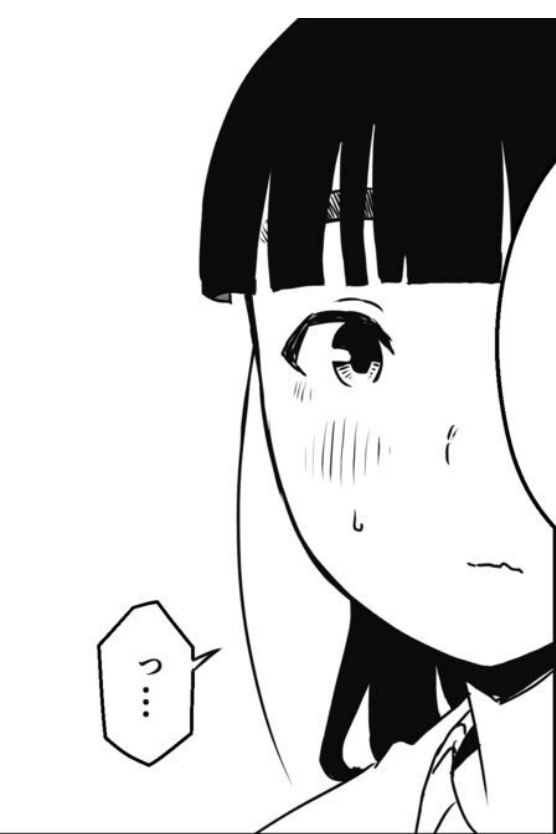
『胸中』





起きた?





っ…

いいって
いつも作って
貰ってるし…

それより…明音さん
…昨日ちゃんと寝た？



ごっごめんなさい！
あとやります！



…お…お恥ずかしい
限りで…

あはは
いいって



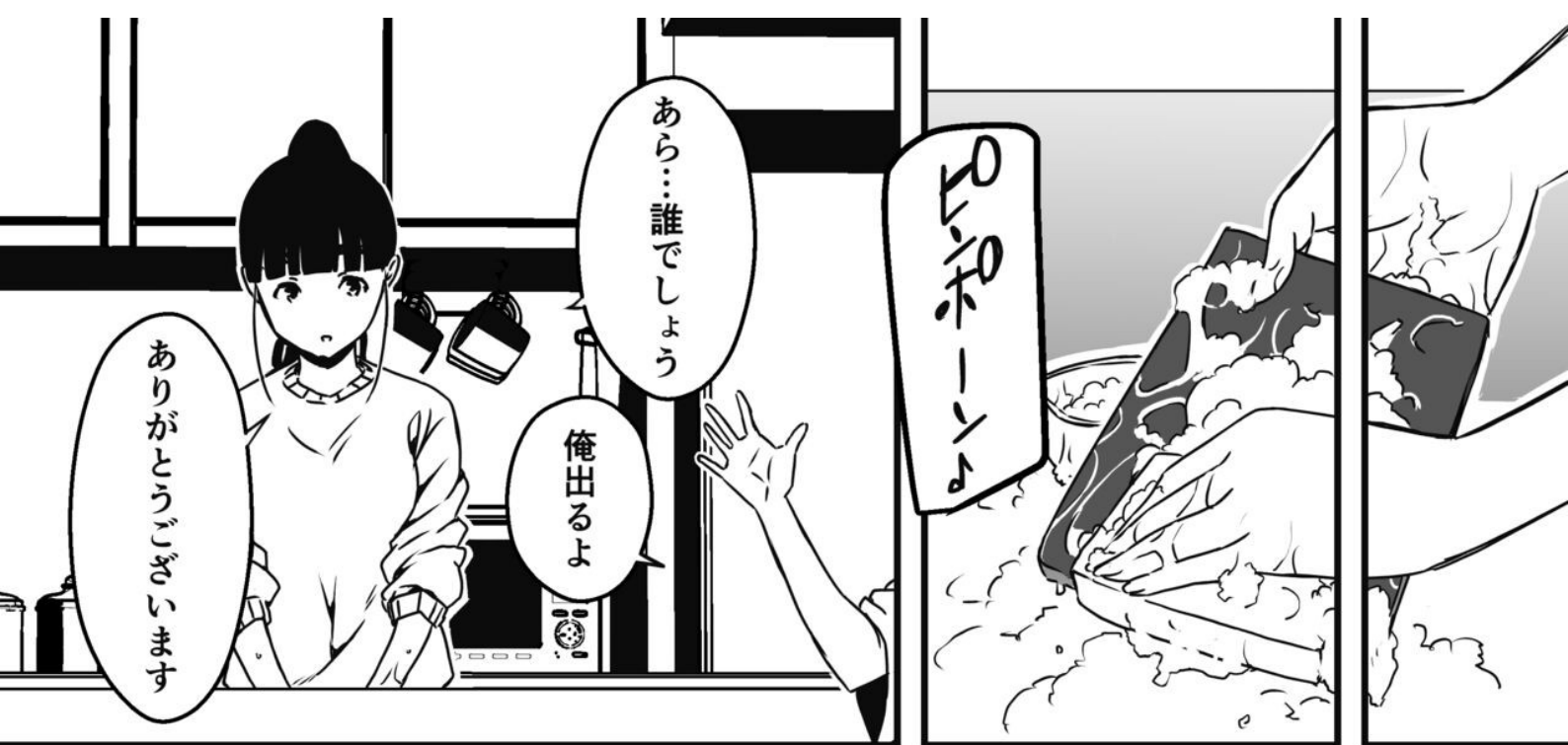
まあ話は後にしてさ
食べよ？

はい…



泣いてる途中で
スイッチ切れた
みたいに寝たよ

いっ…いえ
あの…



WINNER!!

ガ
ガ
ガ
ガ
ガ















ありがとう
ハル君...

私と家族に
なってくれて

ん...



まっ待って!

っ!?

明音さん?

それじゃ...
切るね...

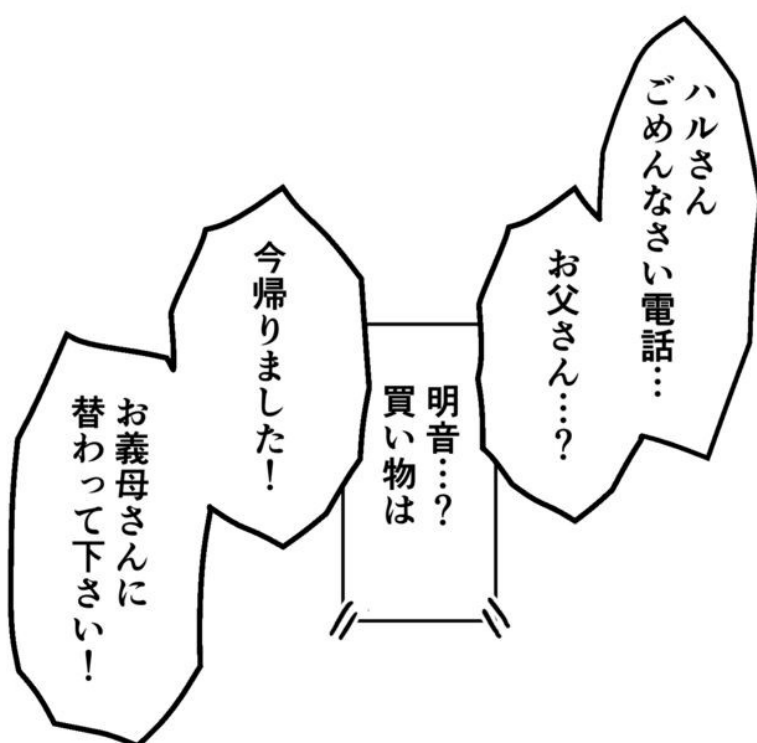
帰り道気をつけて

ガチャッ



あ...お義母さん?

もしもし
明音ちゃん?



ハルさん
ごめんなさい電話...

お父さん...?

明音...?
買い物は

今帰りました!

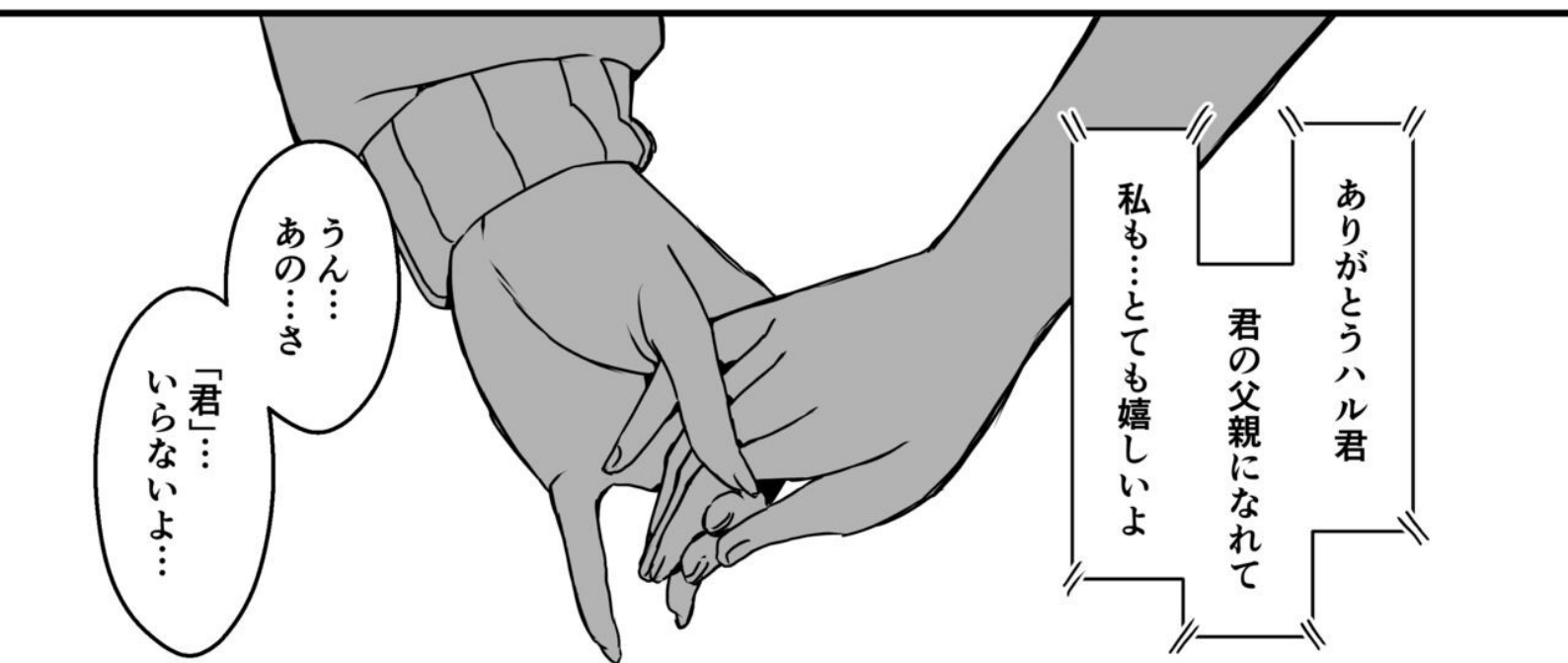
お義母さんに
替わって下さい!





いつの間にか
明音は…君達二人は
私達が考えるよりも
成長していたみたいだね

私達の心配は
杞憂だったようだ



ありがとうハル君

君の父親になれて

私も…とても嬉しいよ

うん…
あの…さ

「君」…
いらないよ…



うん…じゃあね

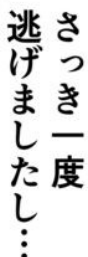
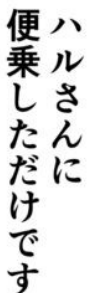
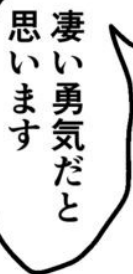
父さん…



…そうか

そろそろ切るよ

私達が帰るまで
家の事を頼むよ
…ハル









この際白状すると

初めて会った時から…
不安でした…

若い男性と一緒に
暮らすなんて…

いつか間違いを
起こしてしまうんじゃないかと…

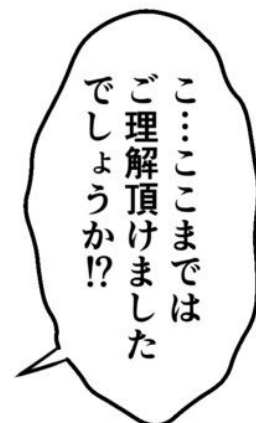


「あの日」までは…
その……

何とか自分で…
処理を……

でもお酒で…
タガが外れてしまい

あのような事に…



こ…こまでは
ご理解頂けました
でしょうか!?

あ…うん…
多分…

簡単に言うと

明音さんは
滅茶苦茶スケベで
俺にムラムラしてた

って事で合ってる?

そっ…まあ…
言い方……

…ガッカリ…
しました？

いや…ここ何日かで
明音さんが変態なのは
気付いてたし

へっ…！
酷くなってる!?

俺も…最初はエッチ
したくて…って話は
今朝したでしょ？

そこはお互い様
だよ…

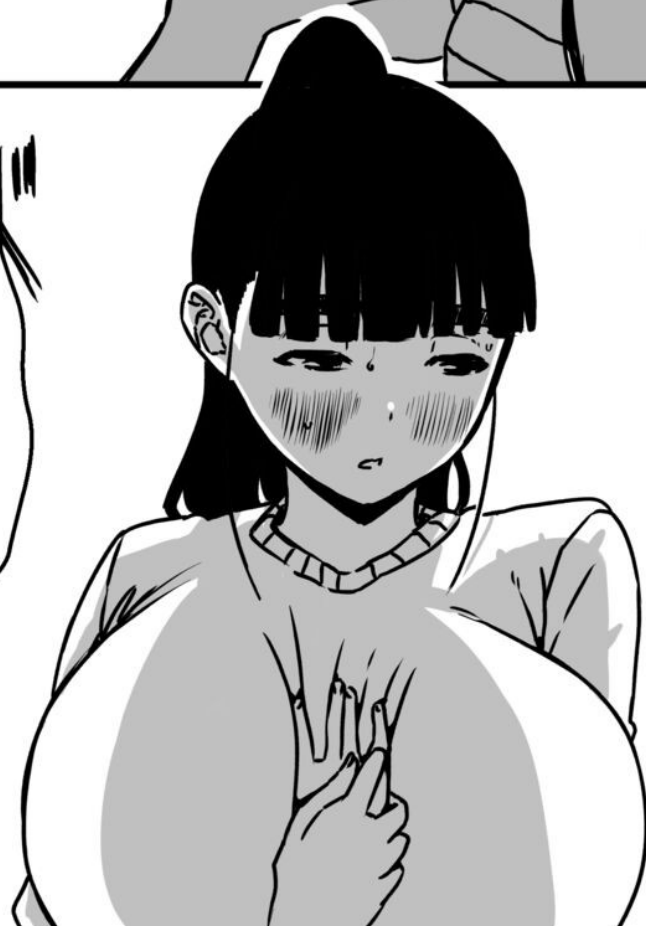
…ただ
今はホントに…
違うんです

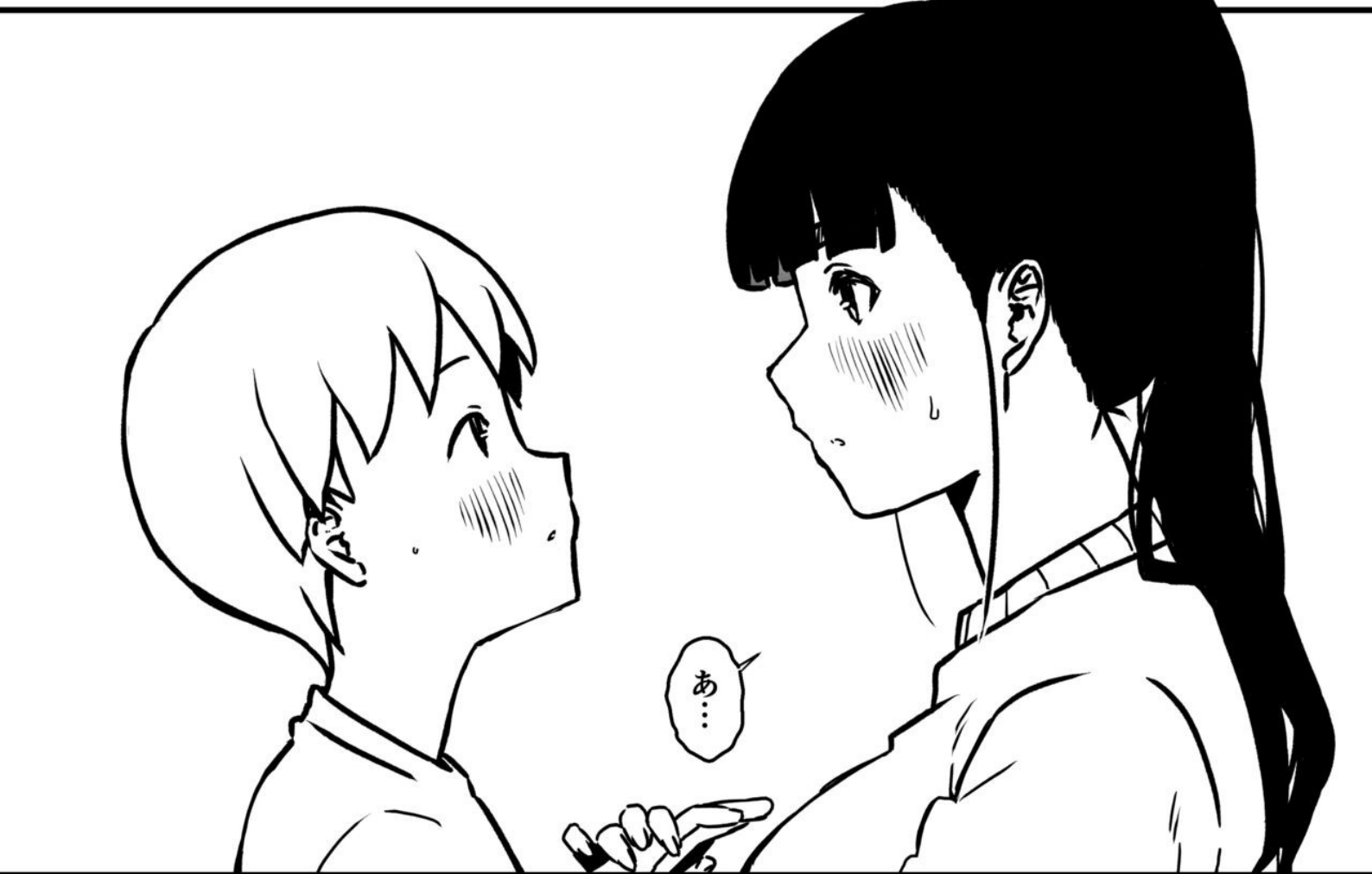
…失礼します…

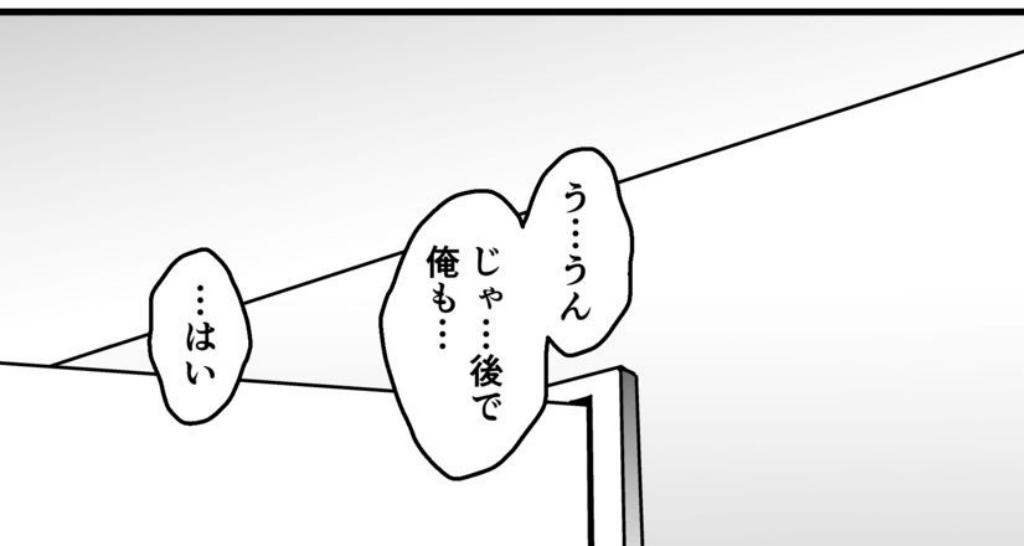
……わかり…
ますか…？

ハルさんの近くに
居ると…

ずっと…
……なんです…

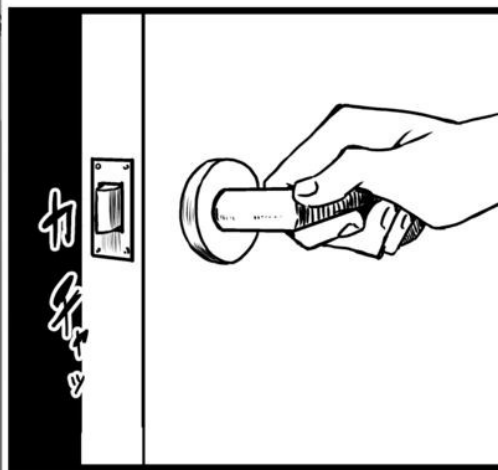
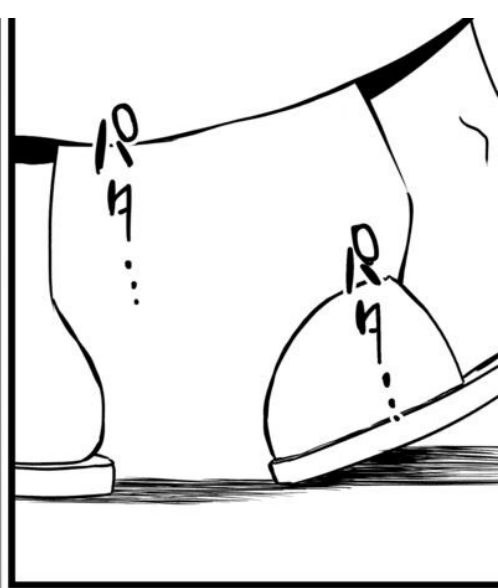
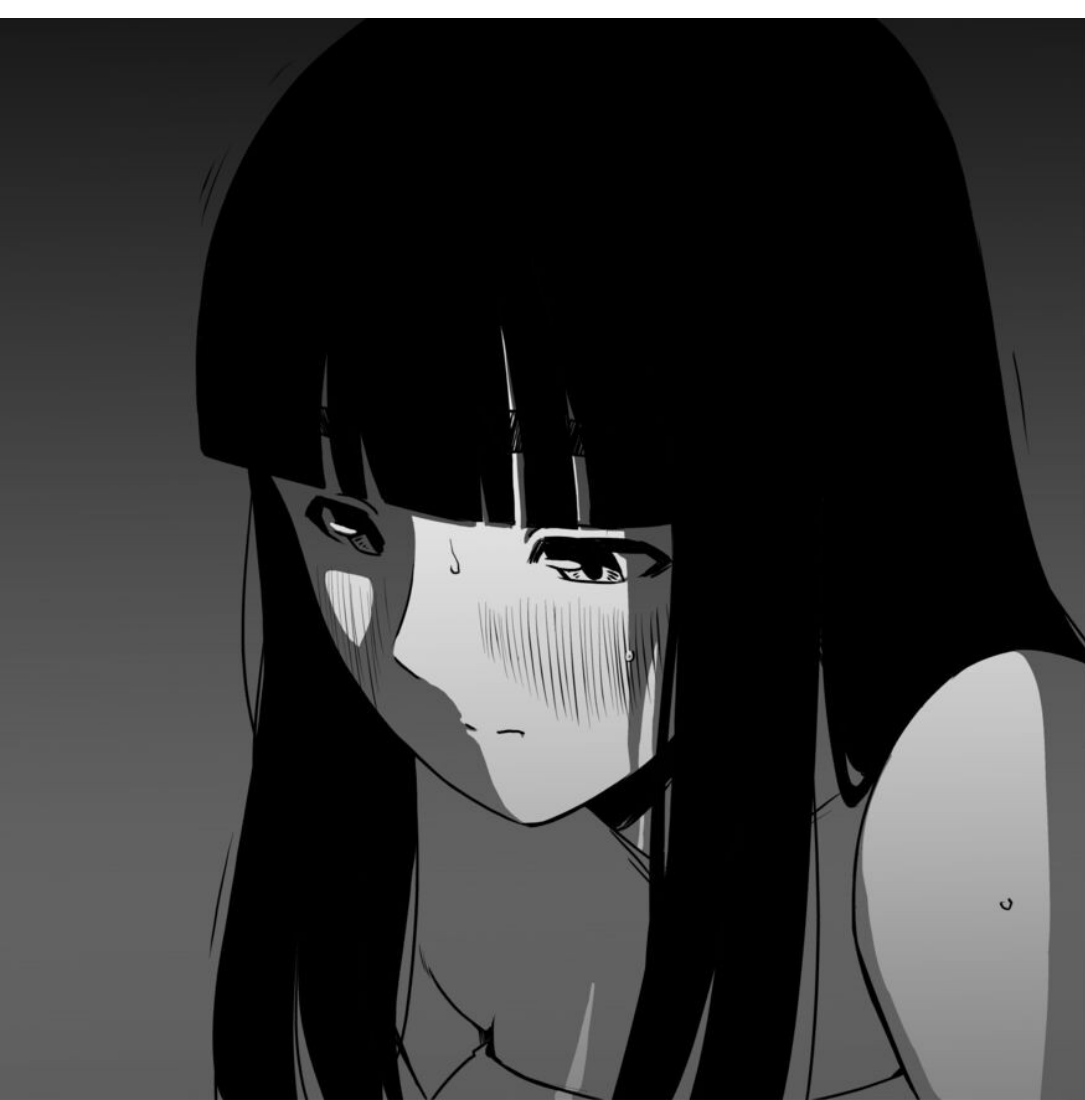


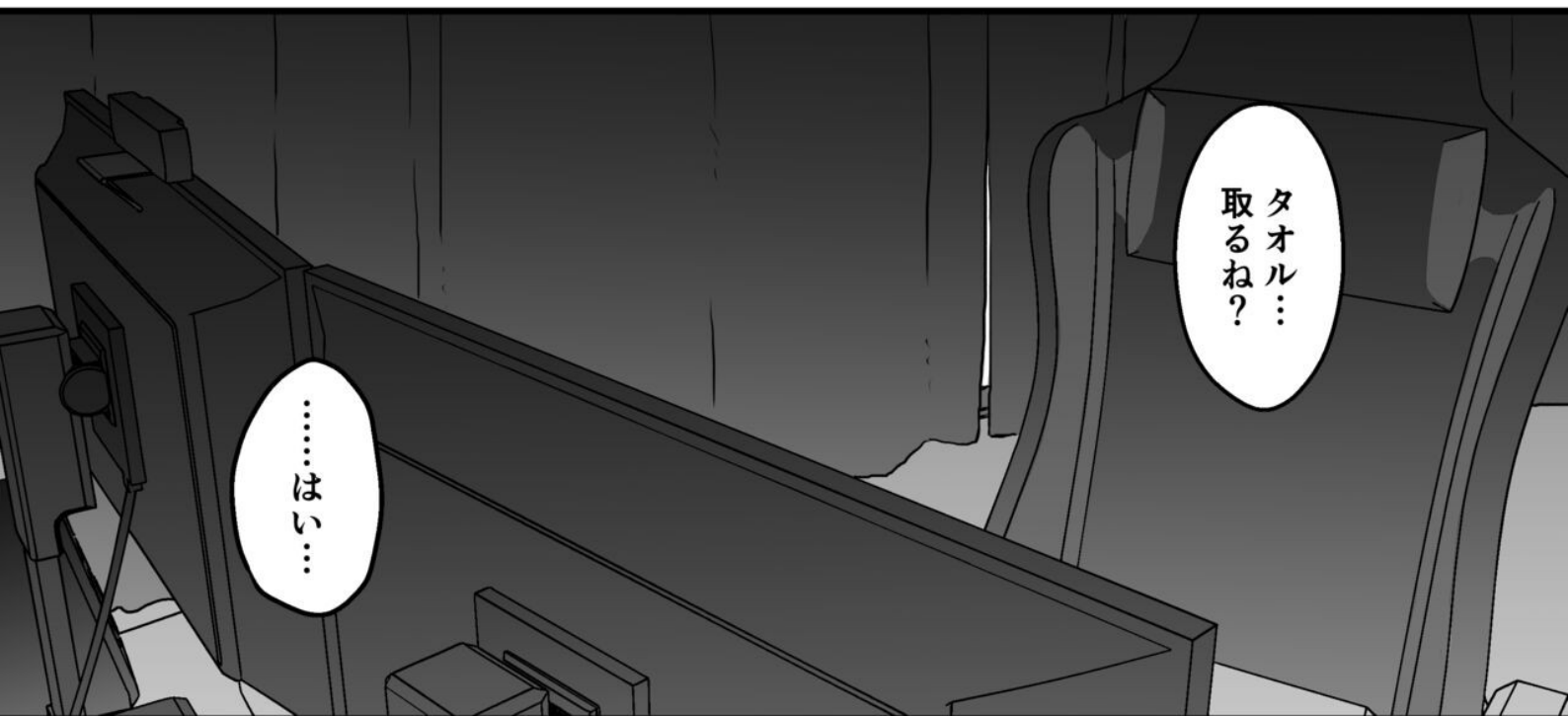






『淫没』







私もです...

...は
はい...

ムクムク

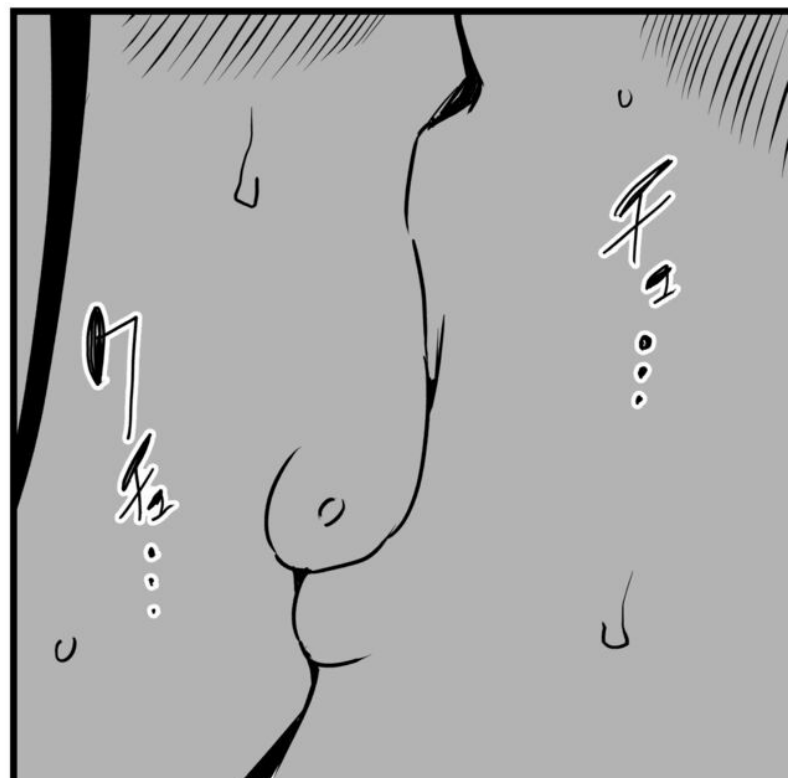


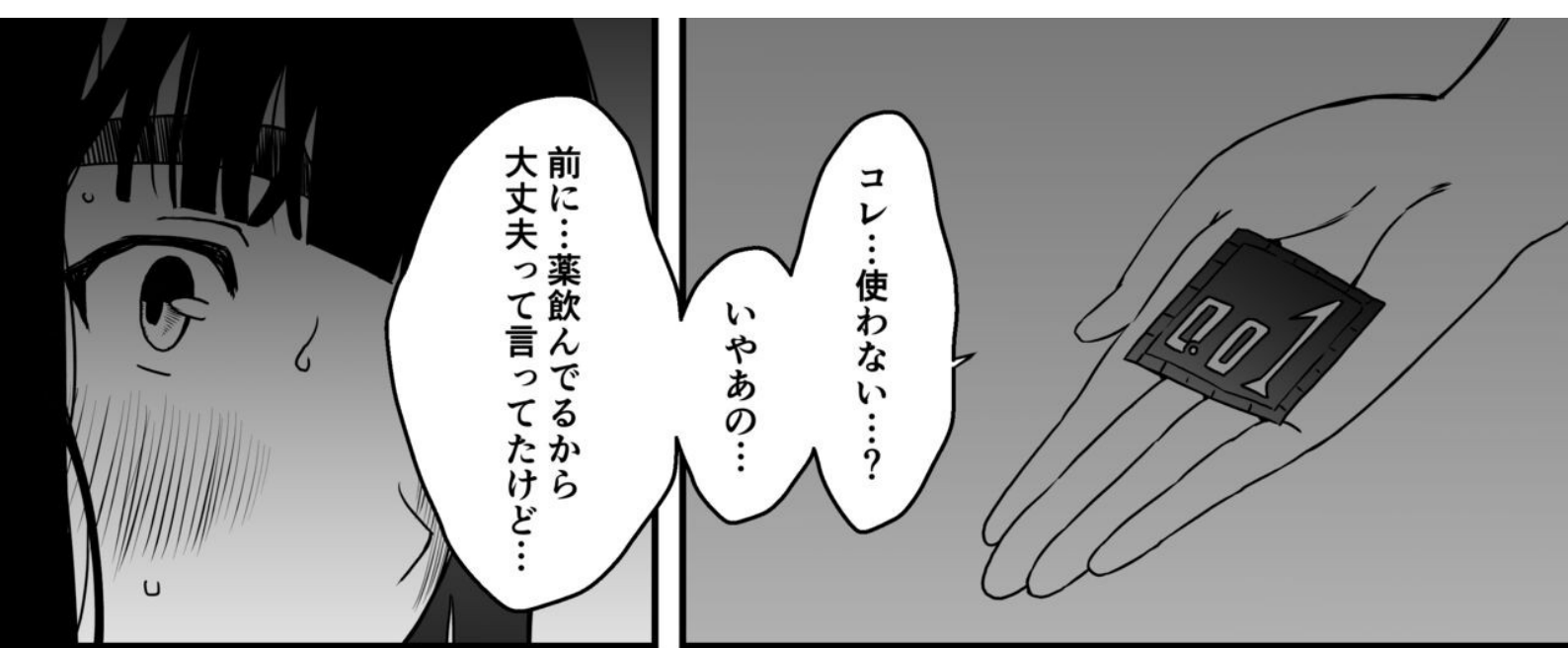
何か緊張する...

.....な

ムクムク

ムクムク





コレ…使わない…？

いやあの…

前に…薬飲んでるから
大丈夫って言ってたけど…

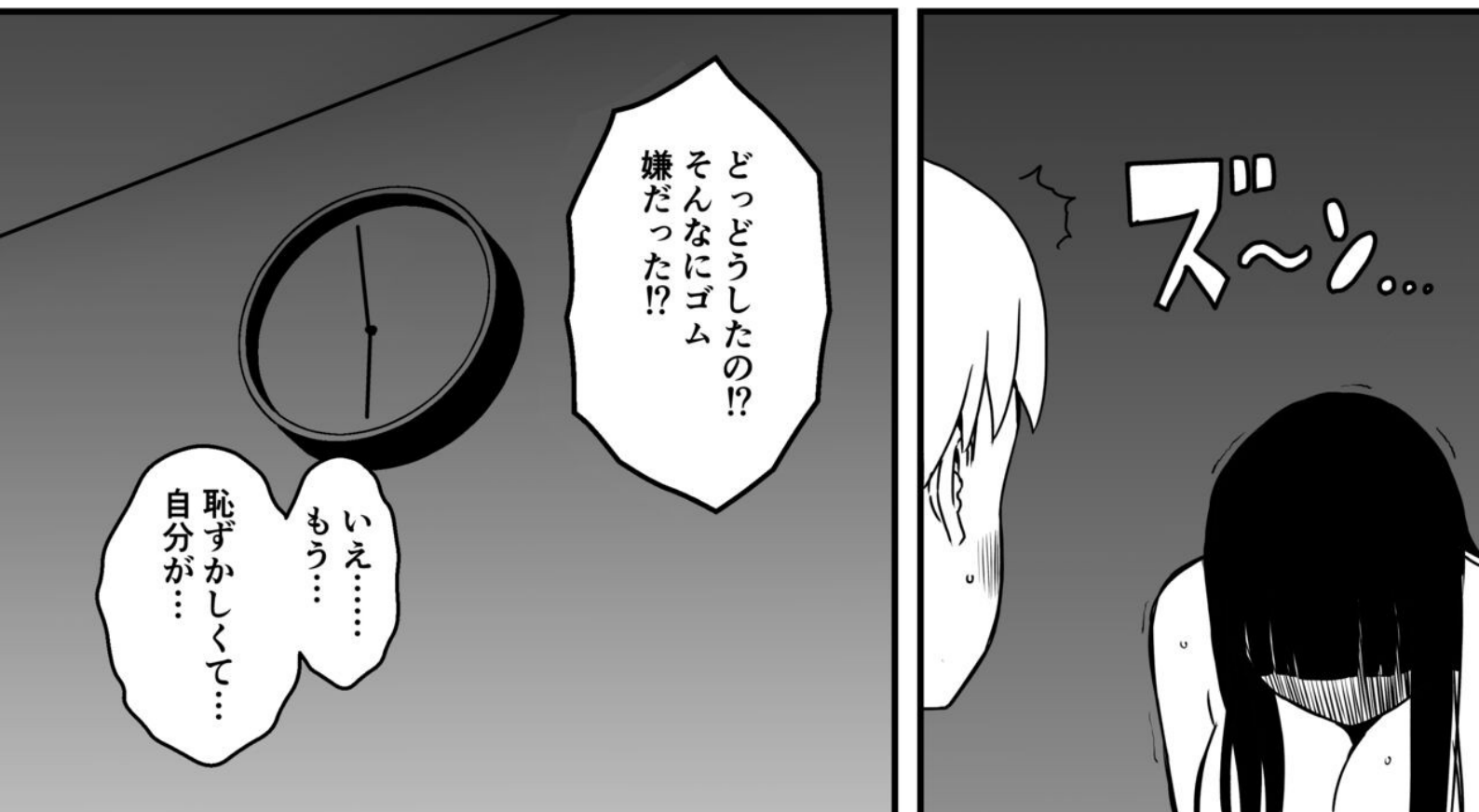


でも…こういうの
ちゃんとしないと

俺…まだ責任とか
取れないし…

明音さんが
責められちゃう
から…

…と思って…



どっとうしたの!!
そんなにゴム
嫌だった!?

いえ……
もう…

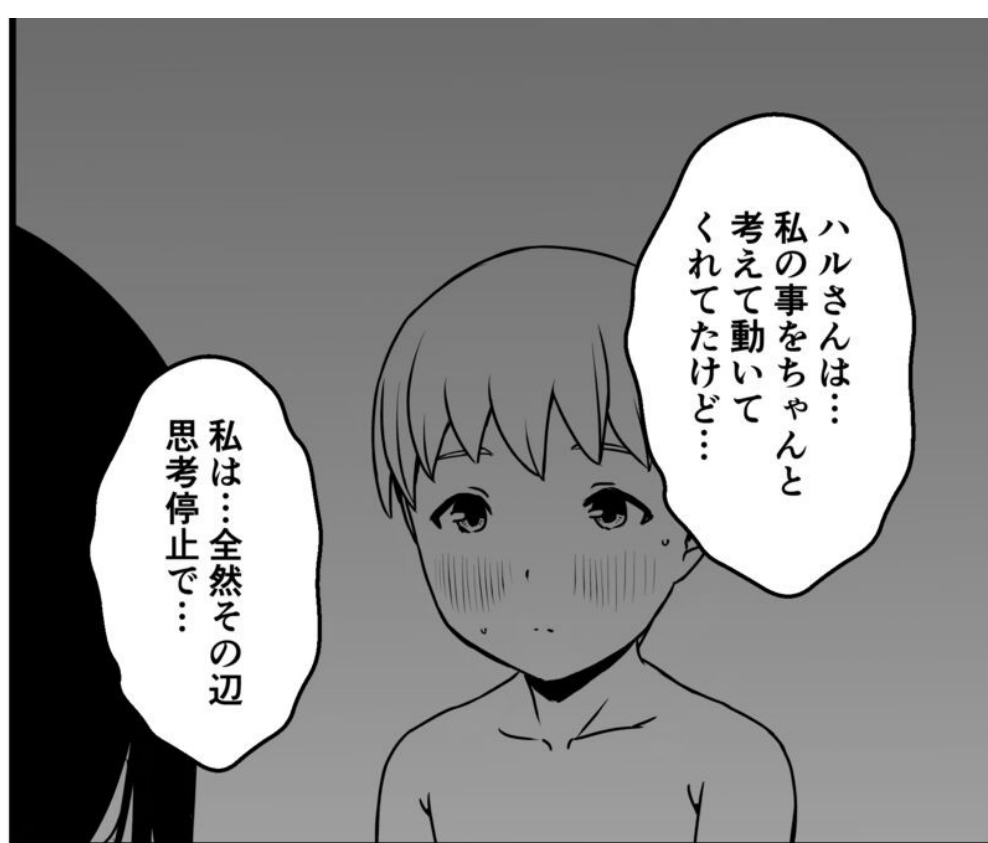
恥ずかしくて…
自分が…

ズ〜ン…



私…お姉ちゃんで…
しっかりしなきゃ
いけないのに…

チッ…



ハルさんは…
私の事をちゃんと
考えて動いて
くれてたけど…

私は…全然その辺
思考停止で…



ちゅ



お姉ちゃんだからっ

別に完璧じゃなくても
いい…と思うよ？

俺が勝手にやった
事だしね

……



…どうしよう
ねえハルさん…

私…どんな
ハルさんの事
好きになってる…

フム

好き過ぎて…
どうにかなって
しまいそう…



フム…

ハルさんの望む事
なら…なんだって
してあげたいです…



私…

ダメダメだけど…
せめてハルさんに
気持ちよくしたい…

私のカラダで
いいなら…

好きにして
下さい…

んっ
ちゅ…

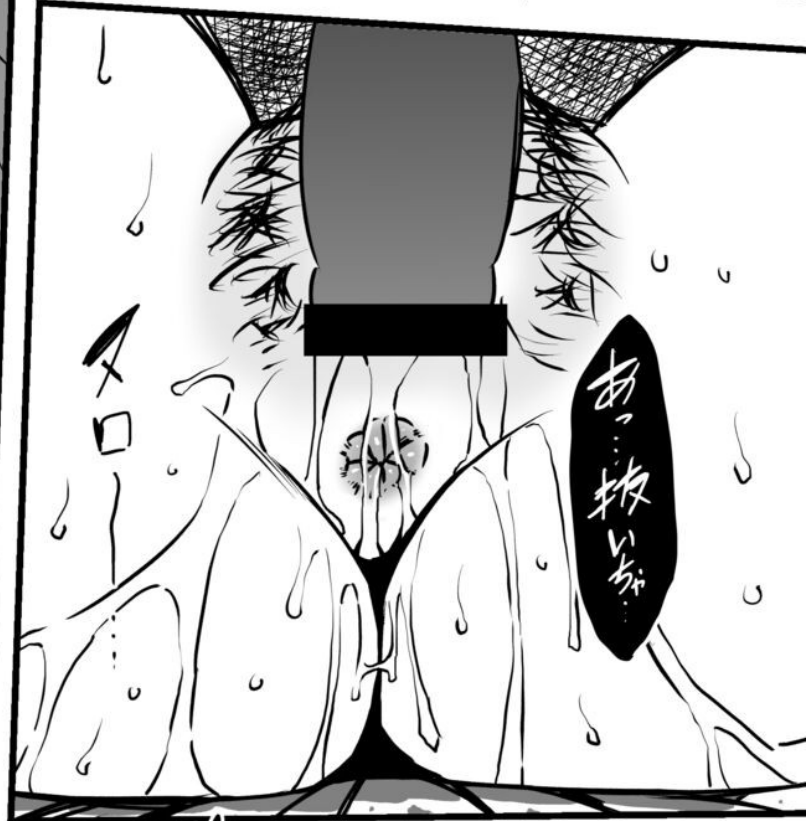
んっ
ちゅ…

んっ
ちゅ…

んっ
ちゅ…











普通の顔も!

感じてる時の顔も!

綺麗な目も!

白くて
柔らかい肌も!

可愛い声も!

大っきい
おっぱいも!

大好きだよ!



優しくて!!
恥ずかしがり屋で!!

ご飯も美味しくて!

外も

中も

全部大好きだよ!!

やめて!!
やめてよ...!!



これ以上…

好きにさせないでよお!!



変になっちゃう…

キュウッ…

好きすぎてっ

キモチよすぎてっ



幸せすぎてっ

おかしくなっちゃうよお!!





ずっとイッてるの…っ

おちんちん挿入れて
からずっと…っ

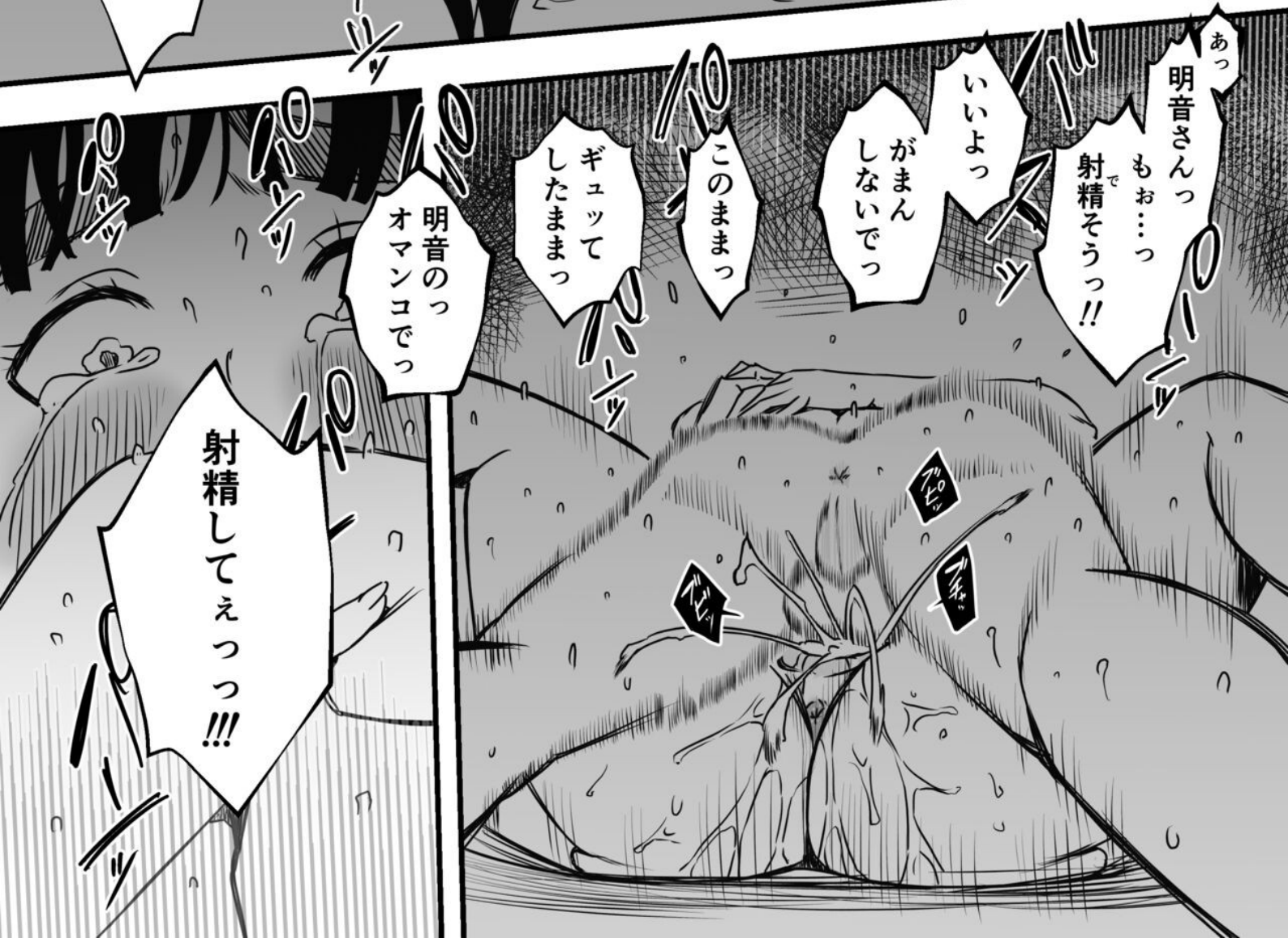
イクのっ

止まんないのっ

ホントっ!?

うれしいっ!

明音さんがキモチいいと
うれしいよ…っ!!



あっ
明音さんっ
もお…っ

射精そうっ!!

いいよっ

がまん
しないでっ

このままっ

ギュッて
したままっ

明音のっ
オマンコでっ

射精してえっっ!!!



スゴい
ナカで...
あはれ...

あはへ...は...

ハフふん...

明音さん...

...ゴム...
いっぱいあるから...

うん...

いっぱい...







あ...あかねさん...

んっ♡

もっとしたいけど...

もう出ないかも...

ちゅぽっ♡

んっ♡

ちゅぽっ♡

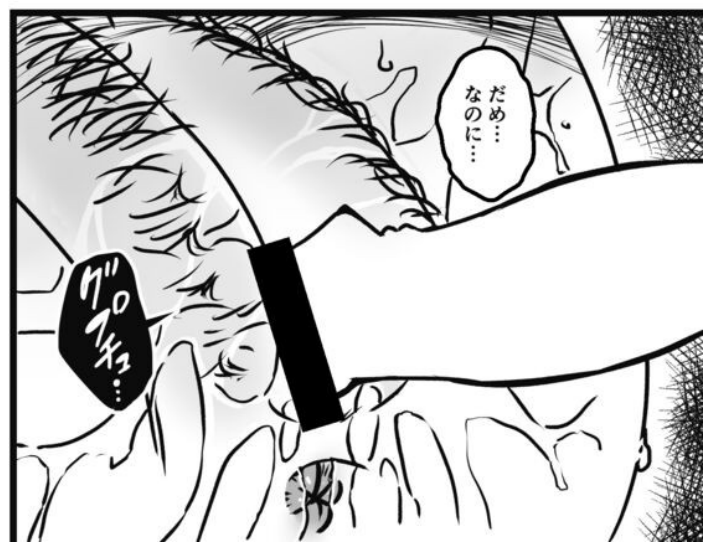
んっ♡

ちゅぽっ♡

これはもう...

...ね?

じゃあ...



あぁっ

すごい…

ぜんぜんっ

ぜんぜん
ちがうっ!!

これもっ

もっと
欲しい!!

ちんちん
欲しい!!

これが
欲しかったのお!!

これ…っ

これがっ…

はっ

はっ

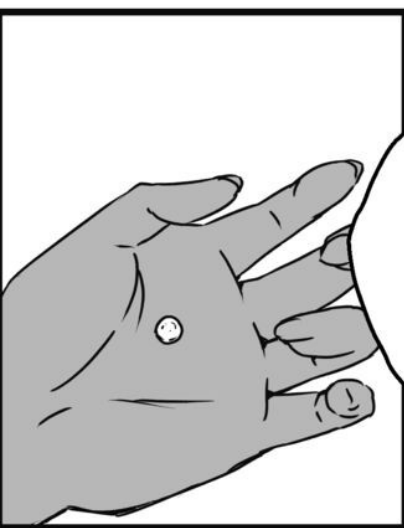
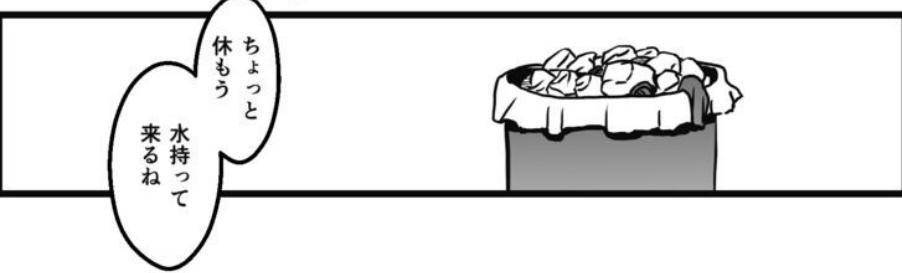
はっ

はっ









エッチしてる時
キャラ変わるよね…

うっ…!

自分の事
「明音」って呼ぶし

ちよっ…

何か凄い…
エロい事言うし

やっやめて
許して!!

…むっ…昔の…
クセで…

…そういう時は
…スイッチ入っちゃう
みたいで…

ごめんなさい…

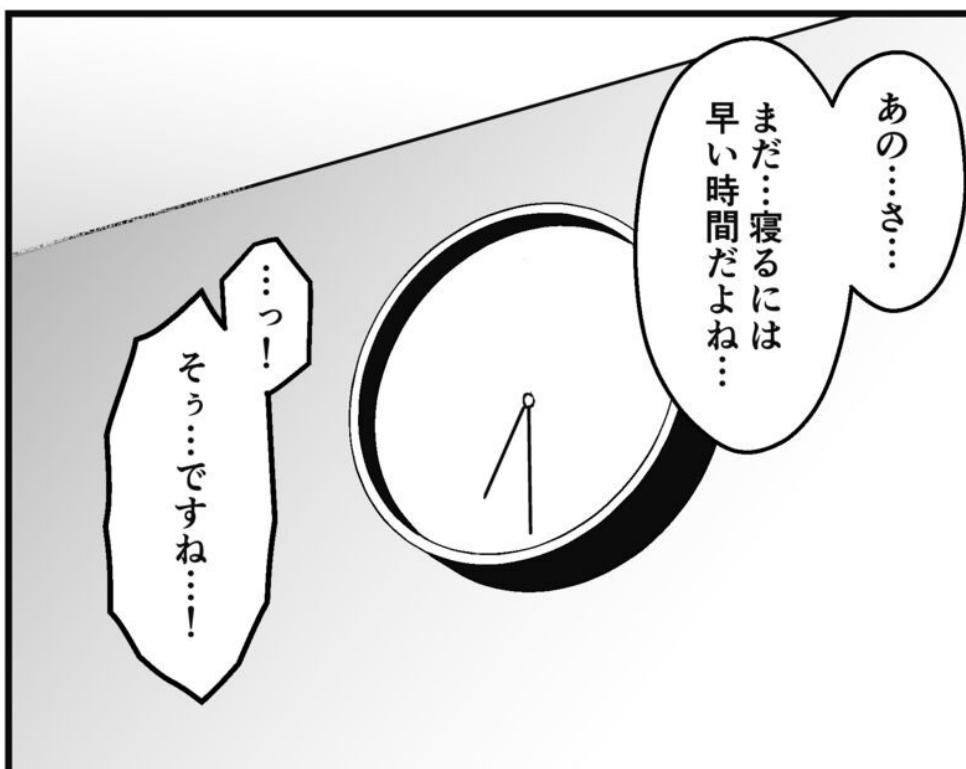
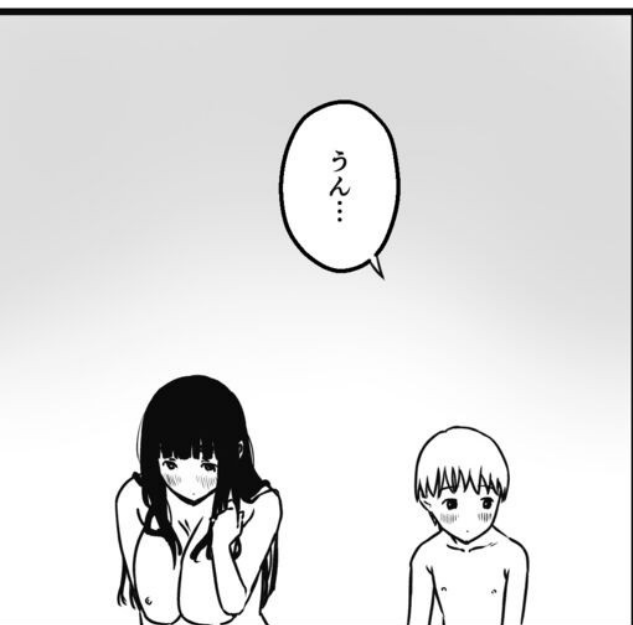
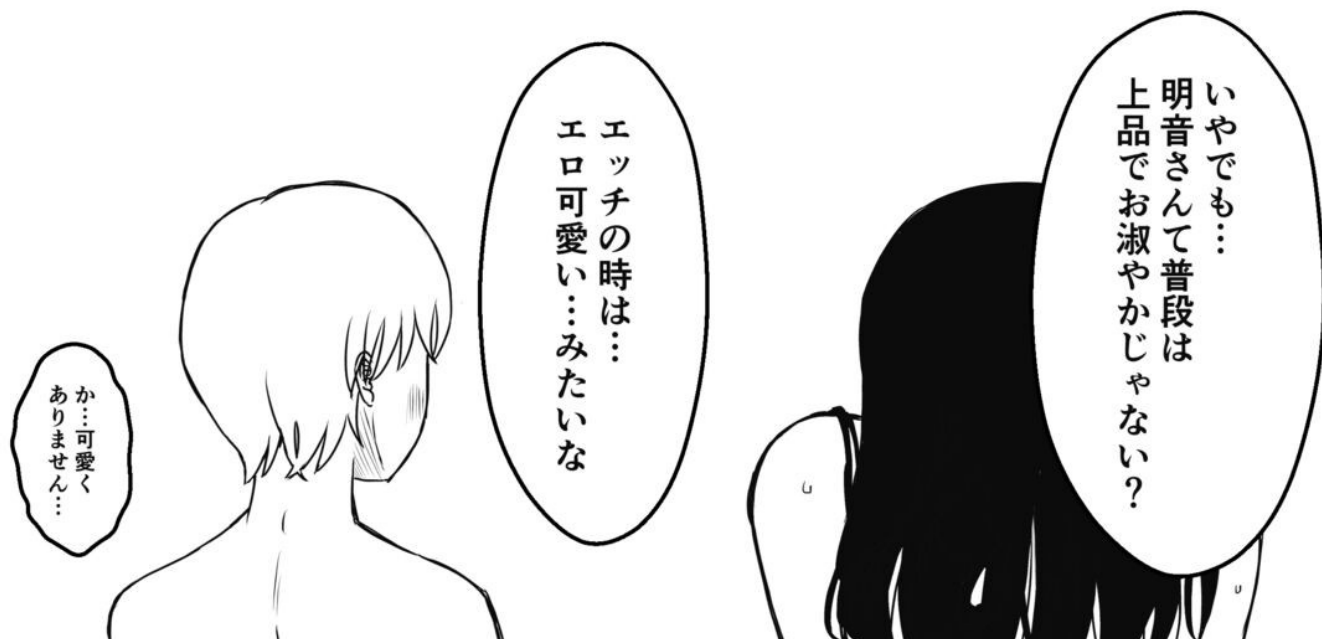
?
何で謝るの?

だっ…だって…

イヤじゃ
ないです…か?

あんなの…
品が無いし…

もっと…お淑やかで
上品な女の方が
…良くない…です?





ミサワ アカネ
三澤 明音(20)

ミサワ
三澤 ハル(10)

ゲームが趣味の少年。
明音の義弟。
日ごとに明音に対する劣情が
増すと同時に、恋心も芽生える

女子大生
ハルの義姉。
両親が出かけた日に、とある理由から
ハルの初めてを奪う。
B:120 W:72 H:90

